

一般財団法人横浜水道会館 2015年度（第48期）事業概要報告

1. 事業の状況について

- (1) 水道事業の振興に関すること（定款第4条第1項）及び水道に関する総合的調査並びに研究（定款第4条第2項）並びに水に関する啓発・広報、防災事業に関すること（定款第4条第3項）

① 公益展示（常設）

開設日 2015年04月01日～2016年03月31日

場 所 1階入り口スペース及び2階公益スペース

見学者 延べ12,334人

② 水道週間（協力）

開催日 2015年06月06日（土）10：00～15：00

場 所 野毛山配水池

内 容 水道週間に当たり、水源列車の運行で水循環の重要性を乗車体験（乗車数：大人122名、子ども220名、合計342名）にPRすることができました。

③ 三局合同（横浜市水道局、環境創造局、道路局）「水の日」イベント（協力）

開催日 2015年08月03日（月）11：00～15：00

場 所 JR桜木町駅前広場

内 容 昨年から法制化された水の日（8/1）のPRイベントとして協力した。水源列車の乗車数は、大人153名、子ども185名、合計338名で、水源の大切さとおいしい水・安全な水についてPRすることができました。

④ 子供アドベンチャー（協力）

開設日 2015年08月18日（火）10：00～15：00

場 所 横浜市水道局水道記念館

内 容 水源列車は、268人（大人99人、子供169人）が乗車し、水源の大切さとおいしい水・安全な水についてPRすることができました。

⑤ 健康のために水を飲もうキャンペーン（協力）

開催日 2015年08月19日（水）～20日（木）11：00～16：00

場 所 横浜駅東口新都市プラザ（そごう前）

内 容 水源列車は、初日に大人211名、子ども342名、合計553名、2日目は大人200名、子ども291名、合計491名で、トータル1,044名が乗車し、水源の大切さとおいしい水・安全な水についてPRすることができました。また、木に触れていただく木工細工のイベントに対して協力金を支出しました。

⑥ 西谷浄水場創設100周年記念「にしや祭り」（協力）

開設日 2015年08月22日（土）10：00～15：00

場 所 横浜市水道局西谷浄水場

内 容 水源列車は、過去最長の 60 メートル走行を実施しました。695 名（大人 292 名、子供 403 名）が乗車し、水源の大切さとおいしい水・安全な水について P R することができました。

⑦ 桜木町駅・二代目横浜駅誕生 100 周年記念イベント（協力）

開催日 2015 年 08 月 29 日（土）10：00～15：00

場 所 日本丸メモリアルパーク

内 容 J R 東日本の主催で「桜木町駅・二代目横浜駅誕生 100 周年記念イベント」が行われました。イベントを盛り上げるため、日本丸パークで水源列車を走らせました。当日の乗車数は、大人 217 名、子ども 175 名の合計 392 名でした。初めて 1 日の乗車数で子どもを大人が上回りました。

⑧ 水のあれこれ体験会（共催事業）

日時 2015 年 08 月 29 日（土）13：00～16：00

場所 横水会館全館

概要 ①講演会「かながわの水～水中から覗いてみよう～」、②ユニセフのパネル展示・水がめの体験（水と衛生を中心に）、③水源地の水を顕微鏡で観察、④水のろ過実験、⑤キャラメルポップコーン、カキ氷、ヨーヨー釣り、輪投げを通して、水のあれこれ体験会を行いました。当日は、あいにくの天候でしたが、約 300 名に来場いただきました。

来場者の内、約 1 割強の方がこのイベントに関するアンケートに回答。アンケート調査結果からは、講演会（良い＝54.05%、普通＝8.11%、その他＝37.84%）、ユニセフ関係（良い＝54.05%、普通＝24.32%、その他＝21.62%）、顕微鏡（良い＝78.38%、普通＝5.41%、その他＝16.22%）、出店（良い＝83.78%、普通＝2.70%、その他＝13.51%）でありました。

アンケートの声としては、「水がこんなに問題になっていることを知った」や「子どもの勉強になった」などのご意見も頂きました。全体的には、成功と言えますが、宣伝不足などが今後の課題です。売上金にカンパ金を加え、神奈川県ユニセフ協会へ 2 万円寄付をしました。

⑨ 第 8 回菊名ウォータープラザまつり（協力）

開催日 2015 年 10 月 03 日（土）10：00～15：00

場 所 水道局菊名ウォータープラザ

内 容 ～森と水の楽園～体験しよう、自然と森の身近な水道！と題して、第 8 回菊名ウォータープラザまつりが行われ、水道会館は水源列車の運行を通して、水の大切さや水源保全の重要性、水源林の有効活用などを P R しました。当日の乗車数は、大人 225 名、子ども 405 名の合計 630 名でした。

⑩ 横浜市の浄水処理システムの検討～「第 11 回緩速ろ過/生物浄化セミナー in 盛岡」
（調査研究活動）

日 時 2015 年 10 月 5 日（月）～6 日（火）

場 所 いわて県民情報交流センター「アイーナ」

調査員 川島 正道（横水労組）

目的 この調査研究活動報告書は、一般財団法人横浜水道会館の公益目的事業として実施し、調査員については、横浜水道労働組合員に委託したものです。

各都市の浄水方法は、急速ろ過方式や高度浄水処理方式、膜ろ過方式など様々な方式により処理されています。今後、日本社会は人口減少を迎え、水需要についても減少が予測されています。水道施設のスクラップ・アンド・ビルドが展開される中で、旧来の緩速ろ過方式は、今後の浄水処理システムとして有効であるか？など、市民・住民の皆様が考えるひとつの素材となること。

概要 水質的問題点は荒天時などに起こる高濁度の対応である。現行では原水濁度が 10 度を越えた時点で緩速ろ過系は取水停止し、急速ろ過を全量に変更している。全量緩速ろ過を目指すならこの点を改良しないといけない。

今セミナーでは、急速ろ過を参考にした礫による粗ろ過の手法を報告していた。この手法だと、ろ過速度を 240m としても「かきとり」は 4～8 ヶ月に 1 回ぐらいだそう。

ただ、粗ろ過を何回通過させれば良いのかは、今後の実験プラントの結果を待たなければならない。

また、「かきとり」に関しても、名古屋ではロボットを使って自動化を目指しているという。これらの点を改良しながら浄水能力を増やし、最低でも日量 300,000m³ 規模の浄水能力を目指せば大都市でも生かせるのではないだろうか。

大量消費時代から節約の時代背景に変わり給水量が日に日に減ってきている昨今、既存の施設をなくして規模を縮小するのではなく、コスト環境負荷も小さい技術に変換することで、安心して安全な浄水技術ができるのではないだろうか。

その他 市民 PR のため、報告書を 1,000 枚作成し、当会館入口をはじめ、関係団体に郵送しました。

⑪ よこはま WaiWai フェスタ 2015（協力）

開設日 2015 年 10 月 24 日（火）10：30～15：00

場 所 横浜公園

内 容 恒例の「ヨコハマ WaiWai フェスタ 2015」は、今年も「東日本大震災への支援フェスタ」と位置付け、会場に出店した売上げ金の一部を東日本大震災へのチャリティー金として寄贈しています。水道会館は、水源列車の運行を通して、水の大切さや水源保全の重要性、水源林の有効活用などを PR しました。当日の乗車数は、大人 166 名、子ども 182 名の合計 348 名でした。

⑫ ペットボトルの提供

ア) 2015 年度神奈川リフレッシュプログラム「こらっせ神奈川」への協力

主催 福島子ども・こらっせ神奈川

期間 2015 年 8 月 3 日 (月) ~ 6 日 (木)

協力内容 はまっごどうし 10 箱 (240 本) を提供

イ) 震災 4 年目からの福島子ども保養プロジェクトへの協力

主催 神奈川県ユニセフ協会

期間 2015 年 7 月 29 日 (水) ~ 31 日 (金)

協力内容 はまっごどうし 15 箱 (360 本) を提供

⑬ 中村ウォータープラザ開所記念「防災の集い」(協力)

開催日 2015 年 11 月 28 日 (土) 10:00~15:00

場 所 横浜市水道局 中村ウォータープラザ

内 容 横浜市水道局の主催で「中村ウォータープラザ開所記念「防災の集い」」が行われました。イベントを盛り上げるため、水源列車を走らせました。当日の乗車数は、大人 887 名、子ども 183 名の合計 271 名でした。

⑭ 災害時用水缶等の備蓄促進

搬入日	備蓄場所	水缶 (500ml)	ペットボトル水 (500ml)
2015 年			
8/5	横浜市労連事務所	—	192 本
6/23	相鉄労働会館	240 本	240 本
6/23	神奈川県教育会館	240 本	240 本
6/23	神奈川県高等学校教育会館	240 本	240 本
6/23	横浜市教育会館	240 本	240 本
6/27	神奈川県地域労働文化会館 3F	240 本	240 本
6/27	神奈川県地域労働文化会館 5F	240 本	240 本
6/27	自治労横浜会館	240 本	240 本
5/21, 6/27	横浜地域連合事務所	240 本	288 本
6/27	連合神奈川事務所	240 本	240 本
8/31 (追)	神奈川県労働文化センター	240 本	240 本

2. 処務の概要について

(1) 役員に関する事項 平成 27 年度 現在役員一覧表

理事・監事

役 職	氏 名	就任年月日	現 職	備考
理事長	石井 栄一	平成 26 年 04 月 01 日	一般財団法人横浜水道会館	
副理事長	二階堂健男	平成 26 年 04 月 01 日	横浜水道労働組合執行委員長	

常務理事	的場 信也	平成 26 年 04 月 01 日	横浜水道労働組合書記長	
理事	杉沢和三郎	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
理事	藤山 任史	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
理事	山崎 順三	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
理事	大庭 悟彰	平成 26 年 04 月 01 日	元横浜市議会議員	
理事	芦沢 春樹	平成 26 年 04 月 01 日	一般社団法人横浜市水友会	
理事	小林 薫	平成 27 年 03 月 21 日	一般社団法人横浜市水友会	
監事	禧久 章蔵	平成 26 年 04 月 01 日	横浜水道労働組合書記次長	
監事	細川 順弘	平成 26 年 04 月 01 日	太田会計事務所 税理士	

評議員

役職	氏名	就任年月日	現職	備考
評議員	吉川 繁義	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	会沢 賢治	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	星野 国和	平成 26 年 04 月 01 日	元横浜市議会議員	
評議員	横山 征志	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	住中 秀夫	平成 26 年 04 月 01 日	一般社団法人横浜市水友会	
評議員	津田 元	平成 26 年 04 月 01 日	一般社団法人横浜市水友会	
評議員	東 宏	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	山口 公雄	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	安田 武	平成 27 年 03 月 21 日	一般	

(1) 役員会等に関する事項

① 監事会

開催年月日	監査事項	出欠状況		議事の結果	
		出席	欠席	可	否
平成 27 年 06 月 10 日	平成 26 年度 第 1 回 決算監査	2	0	2	0

② 理事会

開催年月日	議事事項	出欠状況		議事の結果	
		出席	欠席	可	否
平成 27 年 06 月 12 日	平成 27 年度 第 6 回 2014 年度事業報告の件、 2014 年度決算・同監査報告 の件、当面の公益活動の件、 臨時報酬の件、第 4 回評議	7 (1)	2 (1)	5	0

	員会の議案の件ほか				
平成 27 年 08 月 25 日	平成 27 年度 第 7 回 2015 年度経過報告の件、第 1 四半期中間決算の件、当 面の公益活動の件、出捐金 の依頼の件、テナントとの 契約の件、第 5 回評議員会 の議案の件ほか	8 (2)	1 (0)	6	0
平成 27 年 11 月 30 日	平成 27 年度 第 8 回 経過報告の件、2015 年度第 二四半期決算報告の件、当 面の公益活動の件、出捐金 の依頼の件、ポリ塩化ビフ ェニル (PCB) の取り扱いの 件、第 5 回評議員会の議案 の件ほか	9 (2)	0 (0)	6	0
平成 28 年 03 月 17 日	平成 27 年度 第 9 回 出捐金の件、2015 年度第 3 四半期決算報告及び 2015 年度見込みの件、2016 年度 (第 49 期) 事業計画案の 件、2016 年度 (第 49 期) 収 支予算案の件、第 6 回評議 員会の議案の件ほか	9 (2)	0 (0)	5	0

※ () 数は、監事

③ 評議会

開催年月日	議事事項	出欠状況		議事の結果	
		出席	欠席	可	否
平成 27 年 06 月 12 日	平成 27 年度 第 4 回 2014 年度 (第 47 期) 事業報 告の件、2014 年度 (第 47 期) 決算・同監査報告の件、当面 の公益活動の件、臨時報酬 の件	7	2	4	0

平成 27 年 11 月 30 日	平成 26 年度 第 5 回 経過報告の件、2015 年度第 一・第二四半期決算報告の 件、当面の公益活動の件、出 捐金の依頼の件、テナント との契約の件、ポリ塩化ビ フェニル (PCB) の取り扱い の件ほか	9	0	6	0
平成 28 年 03 月 17 日	平成 27 年度 第 6 回 出捐金の件、2015 年度第 3 四半期決算報告及び 2015 年 度見込みの件、2016 年度 (第 49 期) 事業計画案の件、2016 年度 (第 49 期) 収支予算案 の件、理事の選任の件ほか	9	0	5	0

3. 神奈川県の立入検査について

本年度は実施されませんでした。

4. 行政関係の対応

- 産業廃棄物排出事業所廃止(変更)届出書 (横浜市資源循環局 2015 年 6 月 11 日)